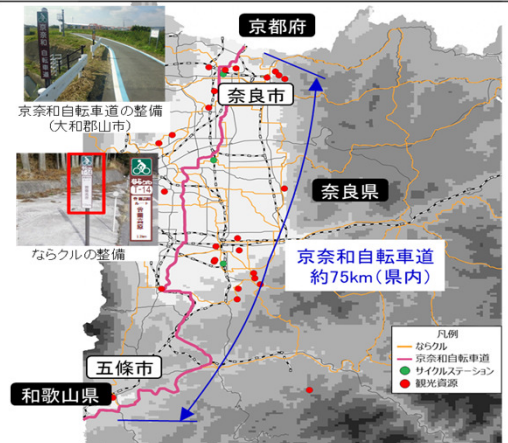


Ⅱ 賑わう「都」をつくる 4 魅力ある観光地づくり

(30) 自転車周遊環境整備

これまでは

広域的な周遊観光を促す環境づくりを推進するため、「ならクル」を整備してきました。



更にH27年～京奈和自転車道の整備着手

R2予算案 546,480千円 [債務負担行為 150,000千円]

○(仮称)奈良県自転車活用推進計画(令和元年度策定予定)に基づき、更なる自転車利用ネットワークの構築に取り組むことで、県内に点在する観光拠点との周遊を促し、観光振興による地域活性化を推進

- ・京都・奈良・和歌山を結ぶ**京奈和自転車道の整備(令和2年度概成)**
(476,330千円、R2～3債務負担行為 150,000千円)
- ・自転車利用の安全性・快適性を高め、周遊観光の促進を図る**自転車利用ネットワークの構築((仮称)世界遺産周遊サイクルルート)や自転車利用環境(案内サインの充実、マップ作成)の整備**
(70,150千円)

もっと良くするために

京奈和自転車道と関連自転車道の整備を推進します。

- 「京奈和自転車道」(総延長180km)の県内部分(75km)の整備(令和2年度概成)
(476百万円)[債務負担行為 150百万円]
- 関連自転車道「ならクル」と連携した自転車利用ネットワークの構築((仮称)世界遺産周遊サイクルルート)と自転車利用環境(案内サインの充実、マップ作成)の整備
(70百万円)



【自転車歩行者専用道路における整備イメージ】

【車道混在区間における整備イメージ】

令和2年度予算案 546百万円[債務負担行為 150百万円]



【自転車歩行者専用道路における整備イメージ】



【車道混在区間における整備イメージ】

<問い合わせ先>
県土マネジメント部
道路環境課 山本主幹(内線4161)

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 5 観光奈良の魅力向上・発信 (31) 県内イベントの充実

これまでは

海・雪のない本県では、**観光客の夏枯れ、冬枯れが常態化**。県内イベントも不足していました。

<p>■冬季誘客イベント「大立山まつり」(今年で5回目) (入場者数約21,367人)</p> 	<p>■ミュージックフェストなら(今年で9回目) (入場者数125,189人)</p> 
<p>■大芸術祭の開催(今年で7回目) (入場者数約1,180,000人)</p> 	<p>■ぐれーとさまあーふえすた☆ならまち遊歩(今年で4回目) (入場者数26,533人)</p> 
<p>■平城宮跡内イベント・平城京天平祭(今年で10回目)などの開催(5、8、10月) (入場者数約105,000人)</p> 	<p>■奈良マラソン(今年で11回目) (参加者数17,310人)</p> 
<p>■馬見チューリップフェア(今年で7回目) (入場者数88,900人)</p> 	<p>■なら燈花会の開催(今年で22回目) (入場者数約945,000人)</p> 
<p>■しあわせ回廊なら瑠璃絵(今年で7回目) (入場者数約412,000人)</p> 	

※入場者数、参加者数は、直近の開催時の数値です。

通年イベントを心掛けてきました。

もっと良くするために

さらなるイベント展開で**奈良を元気**にします。

○四季を通じて県内外から多くの人々に訪れていただけるよう、奈良の奥深い魅力をブランディングし、ゆっくりじっくりと楽しめるイベントを展開していきます。

- ・平城宮跡にぎわいイベント 春・夏・秋(166百万円)
- ・冬季誘客イベント 大立山まつり(69百万円)
- ・奈良公園にぎわいイベント(30百万円) ぐれーとさまあーふえすた☆ならまち遊歩、なら燈火会、若草山焼き、しあわせ回廊なら瑠璃絵
- ・文化・芸術イベント **ミュージックフェスト**なら2020、大芸術祭・障害者大芸術祭(158百万円)
- ・やまと花ごよみ **馬見丘陵公園**(36百万円) [債務負担行為 9百万円]
- ・マラソンイベント(74百万円) **奈良マラソン** リレーマラソン







令和2年度予算案 533百万円 [債務負担行為 9百万円]

R2予算案 532,805千円 [債務負担行為 9,400千円]

平城宮跡にぎわいイベント (166,370千円)

- 平城京天平祭(春)(5月)
- 天平たなばた祭り(夏)(8月)
- みつきうまし祭り(秋)(10月)



天平花絵巻

冬季誘客イベント (69,000千円)

- 大立山まつり(1月)
R2は奈良県コンベンションセンターで開催予定



大立山まつり2019

奈良公園にぎわいイベント (29,135千円)

- なら燈花会(8月)
- ぐれーとさまあーふえすた☆ならまち遊歩(8月)
- 若草山焼き(1月)
- しあわせ回廊 なら瑠璃絵(2月)



ぐれーとさまあーふえすた☆
ならまち遊歩

文化・芸術イベント (158,040千円)

- ミュージックフェストなら2020
新たにコンベンションセンターで音楽と食を楽しめるイベントを開催
(5月～6月)
- 奈良県大芸術祭・奈良県障害者大芸術祭(9月～11月)



ミュージックフェストなら2019

やまと花ごよみ (36,260千円、R3債務負担行為 9,400千円)

- 馬見チューリップフェア(4月)
- 馬見花菖蒲まつり(6月)
- 馬見ひまわりウィーク(7月)
- 馬見フラワーフェスタ(10月)
- 馬見クリスマスウィーク(12月)



馬見チューリップフェア

マラソンイベント (74,000千円)

- 奈良マラソン(12月)
- リレーマラソン(11月)



奈良マラソン

＜問い合わせ先＞
まちづくり推進局 志茂次長(4101)

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 5 観光奈良の魅力向上・発信 (32) 海外プロモーション・東京プロモーションの展開

これまで

対外的発信力が不足していたとの認識のもと、奈良の情報発信に努力を続けています。

【海外プロモーション】

- フランス パリのギメ東洋美術館での奈良の仏像展示・ジャポニスム2018の積極参加(平成30年度)
- イギリス 大英博物館での仏像展示・観光プロモーションの実施(令和元年度)

【東京プロモーション】

- 古代歴史文化賞の設立、島根県等4県と連携(平成26年～)
- 東京国立博物館で島根県との連携による特別展「出雲と大和」を開催(令和2年1月～3月)
- 鉄道事業者と連携した奈良県観光キャンペーン事業を展開(平成26年度～)



大英博物館仏像展示



特別展「出雲と大和」

もっと良くするために

観光誘客、周遊・滞在型観光推進のため、さらなる海外・東京プロモーションを展開します。

- 外国人旅行者の「旅行情報源」である現地メディア・エージェント等と連携したセールス活動強化、SNSによる「知られざる奈良の魅力」発信(20百万円)
- 鉄道事業者等と連携し、奈良の歴史イベント(薬師寺東塔大修理落慶、藤原不比等没後1300年、聖徳太子没後1400年)の魅力発信するプロモーションを展開(260百万円)
- 奥大和の魅力旅行商品に造成し、駅構内等で発信(20百万円)



ロンドンでの商談会



首都圏シンポジウム

令和2年度予算案 300百万円

R2予算案 300,000千円

① 観光誘客の強化、周遊・滞在型観光の推進 (20,000千円)

外国人観光客の「旅行情報源」である現地メディアとの「広く、深い」コネクションを有するエージェントと連携し、深度の高いセールスプロモーションを実施

- (1) 月間10回程度の現地メディアへのセールス活動実施
- (2) ファムトリップ



イギリス・フランスなど欧米豪市場を中心に世界の個人旅行者に向けて、SNSにより「知られざる奈良の魅力」を積極的に発信

- (1) 月間15本程度の写真付き記事投稿
- (2) 広告発信



② 奈良の魅力のより一層の向上(260,000千円)

令和2年の薬師寺東塔大修理落慶、藤原不比等没後1300年の歴史的催事や東京オリンピック・パラリンピック、大阪・関西万博を見据え、JR東海、JR西日本、民間交通事業者との連携により、東海道山陽新幹線沿線等を中心に積極的な広報・宣伝等を展開



薬師寺 東塔

- ・ JR等との連携による鉄道駅等を活用した広域広報・宣伝
- ・ JR東海「うましうるわし奈良」キャンペーンやおおさか東線を活用したJR西日本のキャンペーンとの連携
- ・ 首都圏、九州圏、中国圏等での旅行会社等との商談会
- ・ 薬師寺東塔大修理落慶の重点広報
- ・ 藤原不比等没後1300年のプロモーション
- ・ 東京オリンピック・パラリンピック開催にあわせたプロモーション
- ・ 聖徳太子没後1400年や関西ワールドマスターズゲームズに向けた東京プロモーション

③ 鉄道事業者と連携した奥大和の魅力発信 (20,000千円)

鉄道事業者と連携して、奥大和地域の魅力を発信する宿泊旅行商品を造成・PR

連携先 近鉄、JR西日本

内容 ・ 駅構内でのイベント開催 ・ 魅力発信ポスターの駅掲出
・ 奥大和地域への旅行商品の造成



<問い合わせ先>

- ① 観光局 観光プロモーション課 田中課長補佐(内線2153)
- ② 観光局 観光プロモーション課 野田課長補佐(内線2581)
- ③ 地域振興部 奥大和・移住交流推進室 丸岡室長補佐(TEL0744-48-3016)

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 5 観光奈良の魅力向上・発信

(33) 「奈良まほろば館」新拠点への移転

これまで

東京において「奈良まほろば館」と「ときのもり」の2つの拠点で、奈良の魅力を発信してきました。

- 【「奈良まほろば館」】
 ○東京日本橋三越前に開設(平成21年度)
 ○奈良県発信拠点として、奈良の奥深い魅力を発信
- 【「ときのもり」】
 ○東京白金台に開設(平成27年度)
 ○ミシュランガイド東京において1つ星を獲得し、奈良の「食」の魅力を発信



「奈良まほろば館」 「ときのもり」

- 「奈良まほろば館」の賃貸借契約が令和3年3月末で終了することを踏まえ、「奈良まほろば館」の移転にあわせ「ときのもり」との統合を検討。

もっと良くするために

「奈良まほろば館」、「ときのもり」の機能を統合し、奈良県の魅力発信拠点としての機能をより一層強化するため、「奈良まほろば館」新拠点を整備します。(213百万円)【債務負担行為 730百万円】

- 東京都港区新橋一丁目、「奈良まほろば館」新拠点を整備し、ショップでの「奈良もの」の販売、レストランでの「奈良のうまいもの」の提供を充実させ、奈良県の魅力発信と誘客促進を一層強化します。

【「奈良まほろば館」新拠点の概要】

【イメージパース】

「奈良まほろば館」新拠点概要	
所在地	東京都港区新橋一丁目 JR新橋駅から徒歩3分 中央通り沿いの角地
店舗面積	1階 74.44坪(246.07㎡) 2階 170.91坪(565.00㎡) 合計 245.35坪(811.07㎡)
賃料	145,993千円/年
築年月	新築(2021年3月完成予定)



【スケジュール】

- 令和2年3月まで 「ときのもり」営業
 令和3年2月まで 「奈良まほろば館」営業
 令和3年4月 新拠点オープン予定

令和2年度予算案 213百万円【債務負担行為 730百万円】

R2予算案 213,343千円 [債務負担行為 729,965千円]

東京における奈良県の魅力発信と誘客促進をより一層強化するため、「奈良まほろば館」と「ときのもり」を東京都港区新橋一丁目に統合・移転し、観光情報の提供、県産農産物の販売、レストラン機能等を有する新拠点を整備 【令和3年4月オープン(予定)】

【「奈良まほろば館」新拠点での事業展開(イメージ)】

- ①「食」
 - ・奈良の「食」を体感できるレストランの運営
 - ・スイーツイベント、料理教室の開催
 - ・有名シェフや生産者を招いた料理講座
 - ・レストランと連動した農産物フェア 等
- ②「物産」
 - ・県内市町村と連携した物産展
 - ・奈良の酒のプロモーション、利き酒イベント
 - ・伝統工芸作家等による実演販売会
 - ・県内企業と連携した新作商品の紹介・商談会 等
- ③「魅力発信・誘客促進」
 - ・奈良の強みである歴史文化資源を活用したイベント→県内社寺の僧侶による講演、写経体験、連続講座
 - ・聖徳太子没後1400年やなら歴史芸術文化村の整備等を広報・PRする県のプレスセンター機能 等

○「新拠点」への移転準備(213,343千円)

- ・新まほろば館敷金等
- ・新まほろば館内外装工事設計
- ・現まほろば館・ときのもり原状回復工事等

【債務負担行為】R3~R7

賃貸借料5カ年分 (729,965千円)

「奈良まほろば館」新拠点概要

所在地	東京都港区新橋一丁目8-3 JR新橋駅から徒歩3分	
店舗面積	1階	74.44坪(246.07㎡)
	2階	170.91坪(565.00㎡)
	合計	245.35坪(811.07㎡)
賃貸借料	145,993千円/年	
建築年月	令和3年3月完成予定(新築)	



【新拠点イメージパース】

<問い合わせ先>

観光局

観光プロモーション課 野田課長補佐(内線2581)

農林部

マーケティング課 井ノ上課長補佐(内線3818)

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 5 観光奈良の魅力向上・発信

(34) 食の振興

これまでは

奈良にうまいものなしと揶揄されてきましたが、奈良にうまいものありの評判をとるようになってきました。

○農産物高付加価値化
(奈良県プレミアムセレクト)



○東京白金台(ときのもり)から奈良県の「食」と「魅力」を発信
(ミシュランガイド東京2019一つ星★)



○県内レストラン等との連携による情報発信

- ・「眺望のいいレストラン」(6店舗)や奈良のうまいもの会等との連携により、食の魅力を発信
- ※ ミシュランガイドブック奈良2017特別版掲載店舗数
三つ星★★★: 1軒(1) ビブルマン: 26軒(15)
二つ星★★: 4軒(3) 星なし(調査員オススメ): 97軒(0)
一つ星★: 17軒(12) *()内は前年の数

○ONAFICの開校

- ・フードクリエイティブ学科開設以来、23名が卒業
- <主な就職先>
カンテサンス、ロオジェ等、有名レストラン・ホテル
県内でカフェやオーベルジュ等開業

もっと良くするために

「奈良にうまいものあり」の評判を定着させる努力を続けます。

「奈良県食と農の振興に関する条例」を制定し、「県民の健康で豊かな生活」と「地域経済の健全な発展」を目指します。

- 奈良県プレミアムセレクトに(梨)を追加、奈良のうまいもののブランド力を強化(2百万円)します。
- (新)奈良県コンベンションセンターで食のイベント開催等(14百万円)、フードフェスティバル継続開催(6百万円)、(新)NAFICとBCC※(バスカリーナリーセンター)との連携推進(7百万円)で食文化の振興を行います。
※BCC・・・スペイン・バスカ地方にある世界的な4年制の料理専門大学校
- (新)UNWTOガストロノミーツーリズムフォーラムの奈良誘致(32百万円)を行います。
- 奈良初のワイナリー設置の支援、食と農の振興を行う県庁組織を設置します。(「豊かな食と農の振興課」)

令和2年度予算案 61百万円

R2予算案 61,410千円

<奈良の食のブランド化>

- ① 奈良県農畜水産物ブランド認証の推進(2,100千円)
 - ・奈良県プレミアムセレクト(イチゴ、柿)を、東京の老舗果物専門店等でPR
 - ・「梨」を奈良県プレミアムセレクト品目として新たに追加



奈良県
プレミアムセレクト
シンボルマーク

<食を楽しむ機会の拡大>

- ②(新)奈良のおいしい食の魅力創造・発信(14,400千円)
 - ・奈良県コンベンションセンターで食に関するフォーラムやイベントを開催
時期: 令和2年9月(予定)
 - ・県内のオーベルジュでファミトリップ等のプロモーションを実施
時期: 令和2年10月(予定)
- ③奈良フードフェスティバルの開催(5,850千円)
 - ・県産食材の活用や食のネットワークの拡充を推進するため、奈良フードフェスティバルの開催を支援
時期: 令和2年10月～11月(予定) 場所: 奈良公園、うだ・アニマルパーク(予定)
- ④(新)NAFICとBCCとの連携を推進(7,300千円)
 - ・国際性豊かな人材育成を図るために、世界的に著名なスペインの料理専門大学校(BCC)から講師を招へいし、特別講義等を実施
- ⑤(新)ガストロノミーツーリズムの推進(31,760千円)
 - ・第8回UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラム2022誘致に向けた取組の実施
 - ・UNWTOとの連携による国際シンポジウムの開催等ガストロノミーツーリズム推進の機運醸成に向けた取組の実施



- 食と農の振興部に「豊かな食と農の振興課」を設置し、食の振興に関する施策を推進

<問い合わせ先>

農林部

①農業水産振興課 國本補佐(内線3841)、②③マーケティング課 森本主幹(内線3811)

④担い手・農地マネジメント課 喜多仲補佐(内線4022)

観光局

⑤観光プロモーション課 田中補佐(内線2153)